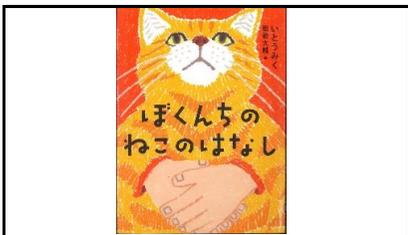




「りりかさんのぬいぐるみ診療所」
空色のルリエル 820900884
わたしのねこちゃん 820909471

講談社
かんの ゆうこ／作 北見 葉胡／絵

大好きなぬいぐるみは、かわいがるほどによごれてやぶれてしまう。りりかさんは、大人になってそんなぬいぐるみをちりょうするしりょう所をつくりました。まるで、生きているようなすがたに直してくれる。そんなやさしいりりかさんには、ひみつがあります。心やさしくなれるお話です。



「ぼくちのねこのはなし」
820901783

くもん出版
いとう みく／作 祖敷 大輔／絵

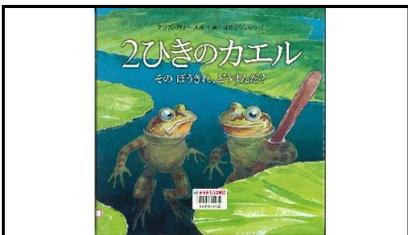
「ぼくちのねこことら」は16さい。人間だとおじいちゃん。このごろ元気がない。ごはんも食べない。ねているばかり。
ぼくが生まれる前からそばにいた、ことらのかん病をお母さんとぼくは心をこめてがんばる。
そしてことらは・・・。



「メガネくんとハダシくん」
820846400

偕成社
二見 正直／さく

せいかくも好きなものも、朝ごはんを食べるときの服そうも全然ちがう2頭のくま。時にはケンカしてしまったり、それでもおたがいのマネをしてみたりしながら、さらに仲を深めていく、じんわり温かいお話です。



「2ひきのカエル」
そのぼうきれ、どうすんだ？
820909992

徳間書店
クリス・ウォーメル／作・絵
はた こうしろう／訳

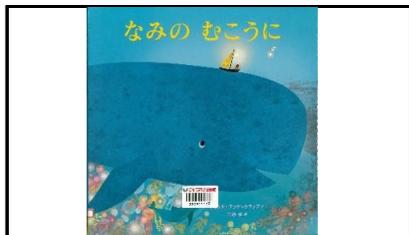
大きな池に2匹のカエルがいました。その2匹のやりとりが、ユーモラスに楽しくえがかれています。「そなえあればうれしいなし」の言葉がげんじつとなります。



「夏休みに、ぼくが図書館で見つけたもの」
820865400

あかね書房
濱野 京子／作 森川 泉／絵

主人公は本好きで日々図書館に入りびたる少年。彼は人に本をすすめるのがとく意。夏休みになり、色んな事じょうをかかえて図書館に足を運ぶ利用者。本にきょうみがなくても、図書館との出会いで知らない世界や人とふれあう大切さを教えてくれる一冊です。



「なみのむこうに」
820911147

BL出版
ブリッタ・テッケントラップ／作
三原 泉／訳

エラは一人ぼっちで小さなふねの上。不安なエラに海の中から声が聞こえました。鳥やイルカもやってきて・・・。だれでも不安になるときがあるけれど、きっとだれかが助けてくれる。希望を感じさせてくれる絵本。



「おひさまのハンカチ」
820910784

講談社
茂市 久美子／作 よしざわ けいこ／絵

なわとびが苦手なさりなは、「おひさま」というお店でお友達のみおちゃんと同じなわとびをみつけましたが、さりなが手に取ったのは、ハンカチでした。そのハンカチのおかげで、すなおにあやまり仲直りができて、なわとびも練習して飛べるように・・・。この物語は、物を大切に心やお友達とのきずなに気づかせてくれます。



「ワニのガルド」
820912269

偕成社
おーなり 由子／作・絵

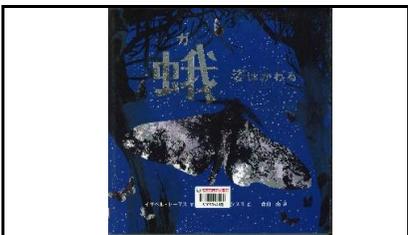
ひっこしたばかりのヒナちゃんは、まだクラスに仲のいい子がいません。学校にいきたいなと思っていたある朝、とつぜんワニのガルドがあらわれて、ヒナちゃんの毎日が変わっていきます。なんかさびしいな、と思ったとき何回でもよみかえてほしい本です。



「モノのなまえ事典」
まだある！！アレにもコレにも！
820886562

ポプラ社
杉村 喜光／文 大崎 メグミ／絵

食パンの耳の正式な名前を知っていますか？見たことあるけど名前があったことにビックリするモノの名前がたくさんついています。意味までのっているののでクイズ形式で楽しめます。



「蛾」
姿はかわる
820906410

化学同人
イザベル・トーマス／文 ダニエル・イグナス／絵 青山 南／訳

「オオシモフリエダシヤク」というイギリスの小さい「蛾(ガ)」の、かんきょうがかわるたびに羽の色やガラが変わっていくようですが、美しく見やすい絵で学べます。かんきょうが変わってもたくましく生きる姿におどろくはず！！